

川崎市南部地域の沿道環境改善のための道路整備の実施状況について

記者発表資料

川崎市南部地域の幹線道路沿道においては、二酸化窒素等の濃度や自動車交通騒音が環境基準を超過していることから、平成11年1月14日に当該地域の関係道路管理者である国土交通省関東地方整備局、首都高速道路株式会社、川崎市建設局では「川崎市南部地域の沿道環境改善のための道路整備の方針について」をとりまとめ、発表しました。なお、この方針は、「川崎公害訴訟」の和解条項（平成11年5月20日）にも盛り込まれております。

このたび、この方針に基づき実施してきた状況についてお知らせするとともに、今後とも、地域の沿道環境の改善を推進するという基本方針のもとに、実施できるものから速やかに着手していくこととしています。現在の主な実施状況は、以下のとおりです。

- (1) 道路ネットワークの整備等
 - ・川崎縦貫道路Ⅰ期（殿町～大師JCT）の工事促進
- (2) 道路構造の改善等
 - ・産業道路 大師橋拡幅の工事完了
- (中長期的に着手する対策)
 - ・環境ロードプライシングの試行中

なお、詳細については別添のとおりで。

平成19年8月3日
国土交通省関東地方整備局
首都高速道路株式会社
川崎市建設局

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ	竹芝記者クラブ
神奈川県政記者クラブ	川崎記者クラブ
横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省	関東地方整備局	道路部	計画調整課長	鈴木 通仁
【TEL 048-601-3151（代表）内線4311】				
首都高速道路株式会社	計画・環境部	環境グループ	総括マネージャー	宇佐見 健太郎
【TEL 03-3539-9400（ダイヤルイン）】				
川崎市	建設局	道路計画部	計画調整担当主幹	林 秀雄
【TEL 044-200-2756（ダイヤルイン）】				

**川崎市南部地域の沿道環境改善のための道路整備の方針について
進捗状況（平成19年8月1日現在）**

◆事業中または短期的に着手する対策

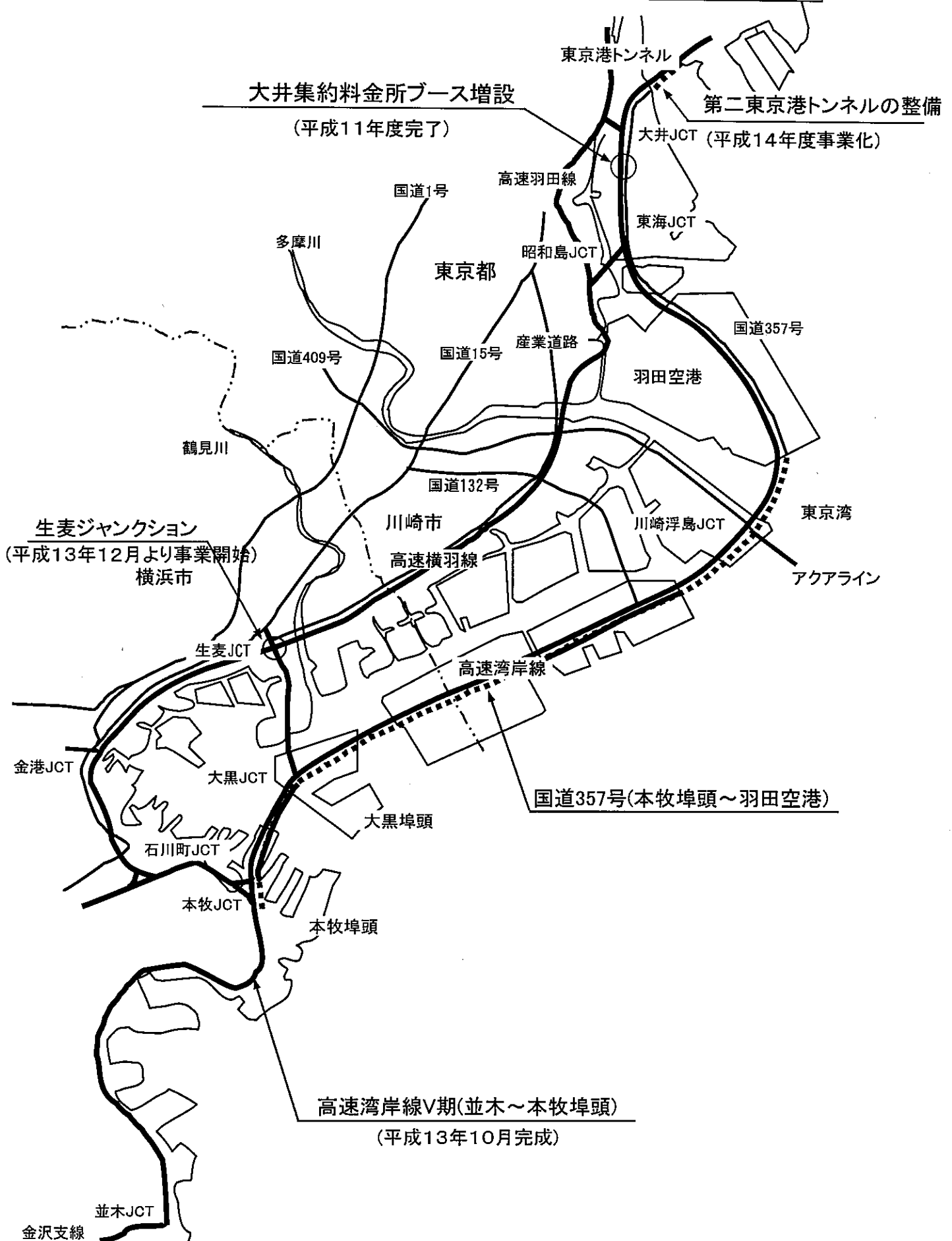
H11. 1. 14 発表内容				現在の進捗状況	
分類	路線	対策内容	完成目標		
(1) 道路ネットワークの整備等	① 東京・横浜間を連絡する道路	産業道路	殿町夜光線の延伸（産業道路のバイパス）	Ⅲ期	調査を実施中
		首都高速湾岸線	大井集約料金所ブース増設	H11年度	6ブースから7ブースに増設完了。そのうち3レーンがETC専用で運用中。
			V期（並木～本牧埠頭）	H13年度	計画延長14.6kmについて完成・供用。
			第二東京港トンネル	Ⅱ期	一般国道357号東京港トンネルとして平成14年度より国が事業化。
	国道357号	本牧埠頭～大黒埠頭	Ⅱ期	計画延長2.2kmについて2車線完成・供用	
	② アクセス道路	東扇島水江町線	臨港道路	Ⅲ期	川崎港湾計画において、東扇島と水江町を結ぶ臨港道路（4車線）が位置付けられている。
		首都高速道路	湾岸線への案内標識の設置	H11年度	湾岸線への誘導のための案内標識を下り3箇所、上り5箇所設置完了。
		国道132号	夜光交差点右折レーン延伸	H11年度	右折レーン150mの延伸完了。
川崎縦貫道路		I期	H14年度	浮島～殿町区間について完成・供用。 殿町～大師の上下部工事及びトンネル工事実施中。	
(2) 道路構造の改善等	① 道路構造の改善	産業道路	車線削減、植樹帯整備、遮音壁設置	H13年度	計画延長約6.1km（下り約3.3km、上り約2.8km）の全線完了。
		首都高速横羽線	遮音壁設置	H12年度	計画延長約8.9kmについて設置完了。
			裏面吸音板設置	H12年度	計画面積約61,000㎡について設置完了。
			国道1号	環境施設帯の整備（歩道の広幅員化、植樹帯整備）	Ⅲ期
		国道15号	環境施設帯の整備（歩道、植樹帯の広幅員化）	Ⅱ期	一部区間（約1.4km）について概成。
		産業道路	低騒音舗装	H12年度	計画延長約10.5kmについて敷設完了。
		首都高速横羽線	低騒音舗装	H11年度	計画延長約5.9kmについて敷設完了。
		国道1号	低騒音舗装	H11年度	計画延長約2.8kmについて敷設完了。
		国道132号	低騒音舗装	H12年度	計画延長約3.8kmについて敷設完了
		国道409号	低騒音舗装	H14年度	川崎縦貫道路の整備に合わせて敷設予定。
		県道扇町川崎停車場線	低騒音舗装	H11年度	計画延長約1.1kmについて敷設完了。
		県道川崎町田線	低騒音舗装	H11年度	計画延長約1.2kmについて敷設完了。
		県道鶴見溝の口線	低騒音舗装	H11年度	計画延長約2.3kmについて敷設完了。
		国道1号、15号	遮音壁設置	Ⅱ・Ⅲ期	1号：環境施設帯と合わせて整備予定 15号：整備促進。
	② 化交通流の円滑	産業道路	大師橋拡幅	Ⅱ期	平成18年度工事完了・6車線供用。
		国道1号、15号	交差点構造の改良	Ⅱ・Ⅲ期	1号：環境施設帯と合わせて整備予定 15号：一部区間（約1.4km）について概成。
		国道15号	池田町拡幅	H11年度	車道6車線化完了。
		京急大師線	連続立体交差	Ⅲ期	段階的整備として、東門前駅～小島新田駅間の工事を実施中。
	③ 沿道地域の整備	産業道路等	沿道法を活用しつつ沿道整備を促進	Ⅱ期	—
(3) その他	産業道路、首都高速横羽線	光触媒、土壌による浄化システムの設置の試行的実施	H11年度	光触媒、土壌による浄化システム稼働中。	
	国道409号等	大気測定局設置	Ⅱ期	国道409号において設置完了。	

I期：～H12年度 II期：H13～17年度 III期：H18年度～
（～2000年度） （2001～2005年度） （2006年度～）

◆中・長期的に着手する対策

- ・国道357号（大黒埠頭～羽田空港）
- ・横羽線を走行する車両の湾岸線への誘導を図るため、生麦ジャンクション等の整備について検討を進める。（横浜環状北線の一部として計画しており、横浜環状北線は平成13年12月より事業開始）
- ・ロードプライシングの首都高速道路への適用について、制度的・技術的な問題、他の幹線道路への影響等を含めて検討を行う。（首都高速湾岸線において環境ロードプライシングを試行中）

川崎南部地域(川崎市・幸区)で実施予定(検討)の環境対策 その1



首都高速湾岸線V期(並木～本牧埠頭)
第二東京港トンネル
大井集約料金所ブース増設
湾岸線への案内標識の位置
京急大師線連続立体交差
沿道法を活用しつつ、沿道整備を促進
国道409号等において大気測定局設置
ロードプライシングの首都高速道路への適用について検討
湾岸線へ誘導するため、生麦JCT等の整備の検討

